

論証型レポート 自己チェック表 - 内容編 -

序論・本論・結論の書き方と、それぞれの論理的なつながりをチェックしましょう。レベルの判断が難しい場合や、チェック項目の意味が分かりにくい場合は、学習アドバイザーへ質問しましょう。

チェック項目		レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
序論の書き方	①資料を論拠にした問いを立てているか。	問いにあたる記述がない。	問いにあたる記述はあるが、課題と関係が薄い。資料を論拠にした問いではない。	課題に応える問いはたてているが、資料を論拠にした問いではない。	資料を論拠にして、課題に応える問いを立てている。
	②レポートの見通し、主題が端的に書けているか。	レポートの見通し、主題が書かれていない。	レポートの見通し、主題のいずれかが書かれていない。	レポートの見通し、主題が書かれているが、つかみにくい部分がある。	レポートの見通し、主題が過不足なく端的に書けている。
本論の書き方	③参照した資料に対し、自身の解釈が論理的に述べられているか。	解釈にあたる記述がない。	解釈はあるが、資料と噛み合っていない。	参照した資料の解釈はあるが、論理的ではない。	参照した資料に対する解釈が論理的に述べられている。
	④情報の原典を参照しているか。 ※原典：引用・参考にした情報のもともとのよりどころとなる文献	情報の原典を全く参照していない。	情報の原典を参照していない箇所が多い。	情報の原典を参照していない箇所が若干ある。	情報はすべて原典を参照している。
	⑤主張にあった根拠か。	根拠が主張の説明になっていない。	主張と根拠に関連はあるように見えるが、つながりが甘く説明になってはいない。	根拠が主張を説明してはいるが疑問点が残る。	主張のために適切な根拠を挙げており、無理なく結論を導き出している。
	⑥根拠に具体性・説得力はあるか。	抽象的・精神論的な根拠ばかりで具体性・説得力がない。	根拠の説明にデータ・事実を使おうとしているが、納得を得るには程遠い。	根拠の説明がデータ・事実に基づいて具体的ではあるが、納得できるかどうかは疑問点が残る。	根拠の説明がデータ・事実に基づいて具体的であり、説得力がある。
⑦不要な情報は無いか。必要な情報は入っているか。	主張・根拠を説明するのに有効ではない情報が多すぎる。必要かつ有効な情報が無い。	主張・根拠を説明する情報を取捨選択しようとしているが、不十分である。	主張・根拠を説明するのに必要な情報を取捨選択しているがまだ不要・有効ではない情報がある。	主張・根拠を説明するのに必要な情報を取捨選択し、過不足なく含まれている。	
書き方の結論	⑧妥当な結論が序論・本論から無理なく導き出されているか。	結論と序論・本論で書いていることが食い違っている。	結論が、序論・本論の流れから無理がある。	結論が序論・本論から無理なく導き出されているが、妥当であるかは疑問である。	結論は序論・本論から無理なく導き出されており、かつ妥当な結論であると言える。
論理的なつながり	⑨序論に書いた主題について一貫して述べられているか。	序論に主題がない。または、序論で書いた主題と関わりのないことが全体的に述べられている。	主題はあるが課題に応えるものではない。途中でずれが見られ、一貫していない。	序論で課題に応える主題を立てているが、途中でずれが見られ、一貫していない。	序論で課題に応える主題を立て、全体を通して一貫して述べられている。